

## 「北陸電力環境報告書2003」の発行について

平成15年6月24日  
北陸電力株式会社

当社はこのたび、環境問題への取り組み方針や2002年度の環境保全活動の実績などを取りまとめた「北陸電力環境報告書2003」を発行いたしました。この報告書は、1994年に「環境アニュアルレポート」として創刊して以来、毎年発行しており、今回で10回目となります。

### 1. 報告書の概要

今回の報告書は、2001年2月に環境省が公表した「環境報告書ガイドライン」をふまえ、構成の見直しや内容の充実を図り、より多くの方々に当社の環境問題への取り組み姿勢や企業活動に対するご理解が得られるよう工夫しております。また、主に一般のお客さま向けとして「ダイジェスト版」をあわせて発行しています。

#### 【報告書の特徴】

##### (1) 内容の充実

「環境報告書ガイドライン」に準拠し、内容(質・量)を更に充実しております。

##### ダイジェスト版

詳細版を基に、当社の最新の情報と2002年度のトピックスや取り組み実績を中心にまとめ、ダイジェストで紹介しております。

##### 詳細版

従来からの環境保全に関する内容を更に充実させるとともに、経済的側面や社会的側面についてもこれまで以上に具体的に記載しております。

##### (2) 内容をわかりやすく伝える工夫

一般の方にもわかりやすく当社の取り組み内容を理解していただけるよう、数値や推移をグラフや表で、また仕組みはフローでできる限り表現しております。

また、読者の皆さまに読みやすく、親しみをもってもらえるようなデザインや構成といたしました。

### 2. 2002年度の主な成果

#### (1) プラスチックリサイクルの事業化

地元企業の協賛を得て、廃プラスチックのリサイクルを行う新会社「株式会社プリテック」を2002年7月に設立し、2003年4月より操業いたしました。プリテックでは、家庭から排出されたプラスチック製容器包装材を、プラスチック原材料と燃料油にする“ハイブリッド(複合)型リサイクル”を行います。

#### (2) 環境会計

環境保全に関する取り組みを、より一層お客さまにご理解いただくため、当

社では環境保全コストとその効果を可能な限り算定し、情報公開に努めてまいりました。

2002年度の環境保全コストは、投資額が63億円(前年度比26億円増加)、費用額が107億円(前年度比16億円減少)となりました。また、昨年度に引き続き、環境保全効果および経済効果を記載いたしました。

### (3) 地球温暖化問題への対応

CO<sub>2</sub>排出量を削減するため、原子力発電の開発、火力発電所熱効率の向上、新エネルギーの推進、省エネルギーの推進などに積極的に取り組んでいます。

2002年度の販売電力量に対するCO<sub>2</sub>排出量は1,008万tで、販売電力量当たりの原単位は0.394kg-CO<sub>2</sub>/kWhとなり、2001年度(0.419kg-CO<sub>2</sub>/kWh)に比べ改善がみられました。

また、石炭火力発電所で副生する脱硫石膏を活用した、豪州のアルカリ・塩化土壌の改良と経済的な植林方法の確立を目指した研究を、クィーンズランド大学との間で継続して実施しました。

### (4) PCB絶縁油リサイクルセンターの試運転開始

PCB絶縁油の分解・再資源化を目的とした「絶縁油リサイクルセンター」(富山火力発電所構内)の試運転を2003年2月より実施し、5月より本運転を開始いたしました。

### (5) 資源リサイクルの推進

2002年度の産業廃棄物の発生量は51.5万トンで、2001年度(54.2万トン)より2.7万トン減少しました。有効利用率は97.5%となり、2001年度(97.2%)より0.3%向上しました。全体の9割以上を占める石炭灰の有効利用率については、99%を超える高水準を保っています。また、今後も確実にリサイクルを推進するため、2002年12月より、韓国のセメント会社に向けた石炭灰の輸出を開始しました。この他にも継続的な取り組みとして、生ごみリサイクル、オフィス古紙リサイクル、流木リサイクルなどにも取り組んでいます。

### (6) 社会貢献活動

地域での清掃活動や、自治体等が主催する環境イベントへの出展、学校や地域への出前広報など、地域と皆さまと一体となった環境活動を展開しました。

以上